

2023 年度年次報告書

社会課題を解決する人間中心インタラクションの創出

2023 年度採択研究代表者

永嶋 知紘

ザールラント大学 コンピュータ・サイエンス学部

ジュニア・プロフェッサー

学習者視点による AI を用いた学習の理解とデザイン

研究成果の概要

初年度である 2023 年度は主に以下の2つの研究活動を行った。

(1)本研究の開始以前に取得済の関連インタビューデータを用いた「視点取得」に関する分析

本研究の開始以前に取得していた 16 人のドイツの生徒とのインタビューデータを用いて、本研究に関連した二次分析をおこなった。具体的には、生徒が教師、または AI システムの視点から発話しているデータを抽出し(例:「もし自分が先生だったら XXX するだろう」)、「視点取得 (perspective taking)」の観点より生徒が教師や AI の役割をどのように捉えているか、またそれによりどのように生徒が自身の意向を変えているかについて分析をおこなった。これによって、通常の分析手法では明らかにされにくい、「他のステークホルダーの意向を考慮して自身の意向を述べる」と生徒の発話行動を捉えることができた。

(2)ドイツ・日本両国における学校教師とのデザイン研究

フェーズ1の重要な研究活動の一つである、学校教師の意向を調査するデザイン研究の準備(デザイン資料の作成)やリクルーティングを行い、日本とドイツ両国において21件のインタビュー調査を実施した。

所属の海外研究機関との契約締結に時間を要したことによって研究開始が 2024 年 1 月中旬ごろからとなってしまったものの、総合的には 2024 年度の研究活動を進めるにあたって充実した活動を行うことができた。